

# けんけんほっとライン

せいぎかい 発行 2011年12月

民主党・無所属の会 草加支部  
(支部長 山川百合子県議会議員)



5つの**気**で頑張ります!

元気! 本気! やる気! 勇気! 根気!

## 子どもの生きる力を育てる 「弁当の日」



「弁当の日」。それは香川県の滝宮小学校で始まった取組み。今から11年前になります。

「子どもにお弁当を持たせる日」ではありません。「子どもが作る“弁当の日”」です。献立作り、買い出し、調理、弁当箱詰め、片づけのすべてを、一人で行うという食育の取組み。親が手伝わぬことで、一人前になりたいという、子供が本来もっている「生きる力」を育てようというものです。

この取組みをはじめた武田先生は、実践を通じて子どもたちが成長し、そして親御さんたちや周りの大人たちが変わっていく様子に手ごたえを感じ、自分自身も成長させてもらってきた、といいます。

埼玉県でも是非、この取組をはじめたい!! 議会の委員会等を通じて、働きかけを行っています。

## 「暴力団排除条例」は 埼玉県でも!

元タレントの島田紳助さんが、暴力団関係者との交際を理由に、芸能界から引退した背景には、10月1日に施行された東京都暴力団排除条例があるといわれています。この「東京都暴力団排除条例」の基本理念は、「暴力団を恐れない」「暴力団に金を出さない」「暴力団を利用しない」そして「暴力団と交際しない」の3原則です。

実はこの暴力団排除条例、全国47全ての都道府県で制定され既に施行されています。東京都の10月1日施行は、沖縄と並んで都道府県最後の施行であり、既に埼玉県では8月1日に施行されています。(私は昨年、条例制定を議会で提案しました。)

全国で最も早く、暴力団排除条例を制定した福岡県(2010年4月1日施行)や宮崎県では、今月までに全ての県内の市町村で、「暴力団排除条例」が制定されています。

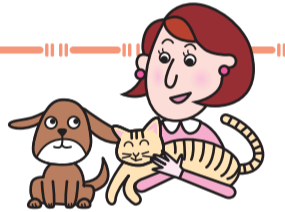
草加は埼玉県内で暴力団の影響が強い地域だと埼玉県警も認識しています。この草加の街を反社会的な勢力から守り、安心して安全な暮らしのできる街にしていかなければなりません。昨年の選挙の際には、現田中市長は反社会的勢力との決別を訴えました。その具体化へ向け「草加でも条例制定を急ぐべきである」と市長へ働きかけています。



埼玉県議会議員

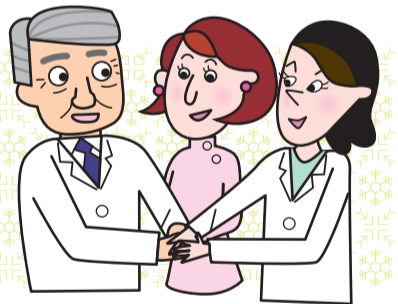
# 山川百合子

## ペットお探しの方は ご相談下さい!



熊谷にある「動物指導センター」。捨てられたい迷子になった犬や猫を保護し、新しい飼い主を捜す業務を行っています。もし飼い主がみつからなければ、殺されてしまいます。H22の埼玉県の殺処分数は4,319頭。ペットを飼いたい方は是非ご相談下さい。

## どうなる?! 埼玉県立大学に 医学部設置



越谷市に、埼玉県立大学があるのはご存知ですか?

保健・医療・福祉の「連携と統合」を柱として、看護学科、理学療法学科、作業療法学科、社会福祉学科、健康開発学科、共通教育学科を設置しています。

この県立大学に医学部を設置しよう、と県議会の議員による連盟が発足しました。医師不足と医療崩壊が深刻な課題となる中、埼玉県は人口10万人あたりの医師数は約140人で、全国最下位(H20)です。

国は昭和54年以降、医学部の新設を認めてきませんでした。民主党は「医師数1.5倍」を掲げ、政権交代後政府は、文部科学省の専門家による検討会を行いました。医療界や厚生労働省の慎重論が強く(将来的な医師過剰、医師の質の低下等)、新設を認めるにはいたっていません。

県立大学で医師を養成することで、県内の医療機関に勤務する医師数を増大していくことにつながります。特に不足している産科、小児科、麻酔科等の医師の養成が求められています。国への働き掛けを含め、活動しています。